

## 学生安全行動指針

一、 校内外での活動中は、スマートフォンやイヤホンの使用により下を向いたままにならないよう注意し、周囲の環境変化に常に警戒してください。周囲に行動が不審な人、情緒が著しく不安定な人、またはその他の異常な状況を発見した場合、原因を判断しようとせず、自身の安全を最優先とし、直ちにその場から離れてください。

二、 安全行動の合言葉「走る・隠れる・守る」を必ず覚えてください。

### （一）走る（速やかに避難）

突発的な危険が発生した場合は、速やかに危険源から離れ、見物したり撮影したりせず、立ち止まらずに、自身の安全を最優先として安全な場所まで避難を続けてください。

### （二）隠れる（リスクを下げる）

すぐに避難できない場合は、施錠可能または遮蔽効果のある場所に身を隠し、照明を消し、携帯電話をマナーモードにして静かに行動してください。机や椅子、重い物を利用して出入口を塞ぎ、発見されるリスクを低減してください。

### （三）守る（重要部位を保護）

やむを得ない状況では、頭部・首・腹部などの重要な部位を優先的に守り、リュックサック、傘、身近な物を防護具として活用し、機会を見て速やかにその場から離れてください。

### （四）安全確保後の対応

危険から脱した後は、直ちに教職員、校内安全担当者、または家族に連絡し、必要に応じて 110（警察）または 119（救急・消防）に通報してください。未確認の情報を転送・拡散しないよう注意してください。

三、 宣導活動や事件（報道を含む社会的事件）の後に、緊張、不安、恐怖などの感情反応が現れた場合は、学校に相談してください。学校は適切に見守りと支援を行い、カウンセリング体制を起動し、校内の相談資源の活用を促して、学生の不安や緊張を和らげ、自身を守る意識の形成を支援します。

四、 社会事件に関するニュース、映像、インターネット情報に接する際は、それらが自身の感情や行動に与える影響に注意し、繰り返し視聴したり模倣したりしないでください。また、未確認の情報を転送・拡散してはいけません。不安や疑問を感じた場合は、教職員、家族、またはカウンセラーに積極的に相談してください。